
令和3年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

令和3年度決算のポイント

◇ 経常利益は1,103億円で、前年度に比べ、79億円の減少
当期純利益は322億円で、前年度に比べ、48億円の増加

◇ 資産総額は貸付金等24兆8,348億円で、前年度末に比べ、227億円の減少
負債総額は債券等24兆4,667億円で、前年度末に比べ、502億円の減少
純資産総額は利益剰余金等3,681億円で、前年度末に比べ、274億円の増加

◇ 地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度末と同額
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度末と同額
公庫債権金利変動準備金は6,826億円で、前年度末に比べ、417億円の増加

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 令和3年度の**経常利益は1,103億円**で、前年度に比べ、79億円の減少(▲6.7%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を126億円上回ったこと等が要因
- ◇ **当期純利益は322億円**で、前年度に比べ、48億円の増加(+17.8%)。一般勘定の当期純利益が増加したことが要因

科 目	R3決算(A)	R2決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,358億円	2,599億円	▲240億円
貸 付 金 利 息	2,214億円	2,498億円	▲284億円
そ の 他	144億円	100億円	44億円
経 常 費 用	1,255億円	1,416億円	▲161億円
債 券 利 息	1,182億円	1,340億円	▲158億円
そ の 他	73億円	76億円	▲2億円
経 常 利 益	1,103億円	1,182億円	▲79億円
特 別 利 益	436億円	644億円	▲207億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	400億円	600億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	36億円	44億円	▲7億円
特 別 損 失	1,217億円	1,553億円	▲335億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	817億円	953億円	▲135億円
国 庫 納 付 金	400億円	600億円	▲200億円
当 期 純 利 益	322億円	273億円	48億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 令和3年度の**経常利益は322億円**で、前年度に比べ、48億円の増加(+17.8%)。健全化基金受入額が前年度より46億円増加したこと等が要因
- ◇ **当期純利益は322億円**で、前年度に比べ、48億円の増加(+17.8%)

科 目	R3決算(A)	R2決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,245億円	1,270億円	▲25億円
貸 付 金 利 息	1,097億円	1,166億円	▲69億円
健 全 化 基 金 受 入 額	136億円	90億円	46億円
そ の 他	10億円	12億円	▲1億円
経 常 費 用	922億円	996億円	▲73億円
債 券 利 息	804億円	866億円	▲62億円
借 入 金 利 息	5億円	5億円	0億円
そ の 他 業 務 費 用	28億円	36億円	▲7億円
営 業 経 費	33億円	30億円	2億円
基 金 管 理 勘 定 繰 出 金	48億円	56億円	▲7億円
そ の 他	2億円	1億円	0億円
経 常 利 益	322億円	273億円	48億円
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—
当 期 純 利 益	322億円	273億円	48億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 令和3年度の**経常利益は780億円**で、前年度に比べ、128億円の減少(▲14.1%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を118億円上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、令和3年度の当期純利益はゼロ

科 目	R3決算(A)	R2決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,166億円	1,389億円	▲222億円
貸付金利息	1,117億円	1,331億円	▲214億円
基金一般勘定繰入金	48億円	56億円	▲7億円
その他	0億円	1億円	▲0億円
経 常 費 用	385億円	480億円	▲94億円
債券利息	377億円	474億円	▲96億円
その他	7億円	6億円	1億円
経 常 利 益	780億円	908億円	▲128億円
特 別 利 益	436億円	644億円	▲207億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	400億円	600億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	36億円	44億円	▲7億円
特 別 損 失	1,217億円	1,553億円	▲335億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	817億円	953億円	▲135億円
国庫納付金	400億円	600億円	▲200億円
当 期 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

- ◇ 令和3年度末現在の**資産総額は24兆8,348億円**で、前年度末に比べ、227億円の減少(▲0.1%)
- ◇ 貸付金が4,064億円、有価証券が3,270億円増加した一方で、現金預け金が7,529億円減少したこと等が要因

科 目	令和3年度末現在(A) (R4.3.31)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆5,508億円	23兆1,443億円	4,064億円
有 価 証 券	9,200億円	5,930億円	3,270億円
現 金 預 け 金	3,534億円	1兆1,064億円	▲7,529億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	8億円	32億円	▲24億円
そ の 他 資 産	61億円	69億円	▲7億円
有 形 固 定 資 産	25億円	26億円	▲0億円
無 形 固 定 資 産	9億円	9億円	0億円
合 計	24兆8,348億円	24兆8,576億円	▲227億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和3年度末現在の一般勘定における資産総額は19兆8,926億円で、前年度末に比べ、8,531億円の増加(+4.5%)
- ◇ 令和3年度末現在の管理勘定における資産総額は5兆5,422億円で、前年度末に比べ、8,766億円の減少(▲13.7%)

	科 目	令和3年度末現在(A) (R4.3.31)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	18兆6,115億円	17兆3,297億円	12,817億円
	有 価 証 券	9,200億円	5,930億円	3,270億円
	現 金 預 け 金	3,534億円	1兆1,064億円	▲7,529億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	8億円	32億円	▲24億円
	そ の 他 資 産	32億円	33億円	▲1億円
	有 形 固 定 資 産	25億円	26億円	▲0億円
	無 形 固 定 資 産	9億円	9億円	0億円
	合 計	19兆8,926億円	19兆394億円	8,531億円
管 理 勘 定	貸 付 金	4兆9,393億円	5兆8,145億円	▲8,752億円
	そ の 他 資 産	29億円	35億円	▲6億円
	一 般 勘 定 貸	6,000億円	6,008億円	▲7億円
	合 計	5兆5,422億円	6兆4,189億円	▲8,766億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 令和3年度末現在の負債総額は24兆4,667億円で、前年度末に比べ、502億円の減少(▲0.2%)
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末に比べ、3,077億円の減少。当期償還額が発行額を上回ったこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、400億円の国庫納付を行った一方で、借換益等817億円を繰り入れた結果、前年度末に比べ、417億円の増加

科 目	令和3年度末現在(A) (R4.3.31)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	20兆1,030億円	20兆4,107億円	▲3,077億円
借 入 金	3,995億円	2,940億円	1,055億円
金融商品等受入担保金	1,474億円	334億円	1,139億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公庫債権金利変動準備金	6,826億円	6,409億円	417億円
利差補てん積立金	90億円	127億円	▲36億円
そ の 他	47億円	48億円	▲0億円
合 計	24兆4,667億円	24兆5,169億円	▲502億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和3年度末現在の一般勘定における負債総額は19兆5,823億円で、前年度末に比べ、8,256億円の増加(+4.4%)
- ◇ 令和3年度末現在の管理勘定における負債総額は5兆4,844億円で、前年度末に比べ、8,766億円の減少(▲13.8%)

	科 目	令和3年度末現在(A) (R4.3.31)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	15兆3,131億円	14兆7,061億円	6,069億円
	借 入 金	3,995億円	2,940億円	1,055億円
	金融商品等受入担保金	1,474億円	334億円	1,139億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	管理勘定借	6,000億円	6,008億円	▲7億円
	その他の他	19億円	19億円	0億円
	合 計	19兆5,823億円	18兆7,566億円	8,256億円
管 理 勘 定	債 券	4兆7,899億円	5兆7,046億円	▲9,147億円
	公庫債権金利変動準備金	6,826億円	6,409億円	417億円
	利差補てん積立金	90億円	127億円	▲36億円
	その他の負債	28億円	28億円	▲0億円
	合 計	5兆4,844億円	6兆3,611億円	▲8,766億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 令和3年度末現在の純資産総額は**3,681億円**で、前年度末に比べ、274億円の増加(+8.1%)
- ◇ 金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から47億円減少した一方で、一般勘定の当期純利益322億円を積立金として計上したことが要因

科 目	令和3年度末現在(A) (R4.3.31)	令和2年度末現在(B) (R3.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	2,980億円	2,657億円	322億円
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	—
繰延ヘッジ損益	▲43億円	4億円	▲47億円 <small>〔うち金利スワップ期中解約分 ▲45億円〕 <small>〔うち繰延ヘッジ取崩分 ▲2億円〕</small></small>
合 計	3,681億円	3,406億円	274億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位:億円)

令和3年度決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前期末高 残 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
231,443	22,513	18,449	235,508

【債券】

前期末高 残 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
204,107	20,364	23,441	201,030

【地方公共団体健全化基金】

前期末高 残 ①	納付金 ②	基運用益 ③	利下げ補てん 所要額 ④	一般勘定自己 財源充当額 ⑤	期末残高 ①+②+③ -(④-⑤)
9,202	136	65	233	30	9,202

【利差補てん積立金】

前期末高 残 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
127	36	90

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末高 残 ①	国庫納付 ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	22,000	—	—	— (注)	22,000
公庫債権金利変動準備金	6,409	▲400	48	769	6,826

(注) 一般勘定においても債券借換益は401億円発生しているものの、関係法令の規定に基づき算出した金利変動準備金の積立限度額(当該期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の100)を前期末残高が超えているため、積立てを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。